

## VI 令和4年度「文化芸術による子供育成総合事業 出演希望調書(実演芸術)」

分野、種目(該当する分野、種目を選択してください。)

分野	音楽	種目	オーケストラ等
----	----	----	---------

申請区分(申請する区分を選択してください。)

申請区分	A区分のみ
------	-------

複数申請の有無(該当する方を選択してください。)

複数申請の有無	無
---------	---

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当するものを選択してください。)

※複数申請の有無で【無】を選択された場合は、未記入で構いません。(グレーアウトされます。)

複数の企画が採択された場合の実施体制	その他
--------------------	-----

その他を選択した場合	
------------	--

## 芸術文化団体の概要

ふりがな 制作団体名	いまじねーしょんぶらすごうどうがいしゃ イマジネーションプラス合同会社		
代表者職・氏名	代表社員 持田幸枝		
制作団体所在地	〒 108-0074		
	東京都港区高輪2-1-11-110		
電話番号	03-3445-5403	FAX番号	03-6736-0320
ふりがな 公演団体名	ふるのーつ ういず てらいなおこ じゃず くいんてつと フルノーツ with 寺井尚子 ジャズ・クインテット		
代表者職・氏名	バンドマスター 古野光昭		
公演団体所在地	〒		
	同上		
制作団体 設立年月	2009年 5月 (任意団体は1999年9月から)		
制作団体組織	役職員		団体構成員及び加入条件等
	持田幸枝(代表)、古野光昭、寺井尚子、浅枝康彦(監査)		公演団体会員他ジャズミュージシャン13名、事務局とで構成され、顧問・古野光昭、寺井尚子の審査基準(音楽性、テクニック等)により加入。
事務体制の担当	専任	本事業担当者名	持田幸枝
経理処理等の 監査担当の有無	有	経理責任者名	前田縁

<p>制作団体沿革</p>	<p>1999年 ベースの巨匠といわれる古野光昭が、日本ジャズ界最強メンバーによるユニット「フルノーツ」を結成したことをきっかけに、任意団体を発足。2007年 音楽の素晴らしさ、ジャズの楽しさをより一層伝えるため、世界的に活躍するジャズ・ヴァイオリニスト寺井尚子をメンバーに迎え、子どもたちを対象としたジャズコンサートプログラム「子どものためのジャズコンサート」を開始。</p> <p>2009年 法人化。イメージネーションプラス合同会社となる。</p> <p>2010年「子どものためのジャズコンサート」（於：六本木ヒルズアリーナ）を開催。以降、毎年同会場にて同イベントを開催。今年は11回目を迎える。（後援：文部科学省、外務省、東京都教育委員会 他、協力：NPO法人キッズファン）同イベントは2012年から「子どものためのジャズコンサート&amp;ソーシャル・カルチャー・フェスティバル」へと拡大し、「スポーツ・文化・ワールドフォーラム」（2016年）「beyond2020」（2017年～）の認証を得て開催。</p> <p>現在 拠点である港区を中心に、コンサートや学校でのワークショップ等を精力的に行い、文化による社会貢献、またSDGs（持続可能な開発目標）を担うべく、大きな理想を持ち、活動を続けている。</p>		
<p>学校等における公演実績</p>	<p>【文化庁巡回公演事業】 採択実績：平成21年、22年、24年、25年、28年、29年度、令和3年度</p> <p>【学校での公演実績】 足立区立保木間小学校、港区立御田小学校、港区立白金小学校、港区立本村小学校、港区立青山小学校、港区立南山小学校、港区立芝浦小学校、港区立麻布小学校、港区立白金の丘学園、港区立高輪台小学校、千葉県浦安市立日の出中学校、徳島市立国府中学校、徳島市立川内中学校、いわき市立平第三小学校、いわき市立錦小学校、田村市立瀬川小学校、田村郡小野町立小野新町小学校、いわき市立湯本第一小学校、角田市立枝野小学校、宇都宮市立姿川第一小学校、宇都宮市立国本中央小学校、狭山市立南小学校、日本大学習志野高等学校、福井県立金津高等学校 他多数</p> <p>【その他】 「子どものためのジャズコンサート」（2010年-2011年）「子どものためのジャズコンサート&amp;ソーシャル・カルチャー・フェスティバル」（2012年-2019年） 会場：六本木ヒルズアリーナ 後援：文部科学省、外務省、東京都教育委員会 他</p>		
<p>特別支援学校における公演実績</p>	<p>平取養護学校ペテカリの園分校、春日部特別支援学校、南那須特別支援学校 出雲養護学校、足利特別支援学校、くわな特別支援学校、中原養護学校、清水特別支援学校、豊川特別支援学校</p> <p>東京都の特別支援学校より、一緒に、コンサートにて共演する子供たちをチラシにて募集し、前もって、何度か会場を借りて演奏家が一人一人指導し、公演当日は、一般の子供たちと一緒に、ステージに立って演奏等を行った。（この企画は、何度も開催）</p>		
<p>参考資料の有無</p>		<p>申請する演目のチラシパンフレット等</p> <p>申請する演目のDVDまたはWEB公開資料</p> <p>※公開資料有の場合URL</p> <p>※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード</p>	<p>有</p> <p>有</p> <p><a href="https://vimeo.com/285757709">https://vimeo.com/285757709</a></p> <p>ID: なし PW: lkodomo</p>
	<p>Aの提出が困難な場合</p>	<p>今回申請する演目に近い演目で公演の様子がわかる内容のDVDまたはWEB公開資料</p> <p>※公開資料有の場合URL</p> <p>※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード</p>	<p></p> <p></p> <p>ID: PW:</p>

公演・ワークショップの内容

【公演団体名 フルノーツ with 寺井尚子 ジャズ・クインテット】

対象	<input type="radio"/>	小学生(低学年)	<input type="radio"/>	中学生
	<input type="radio"/>	小学生(中学年)		
	<input type="radio"/>	小学生(高学年)		
企画名	<b>子どものためのジャズコンサート</b>			
本公演演目 原作/作曲 脚本 演出/振付	<p>日本ジャズ界・実力ナンバーワンの一流の演奏家が集まり、子どもたちのために、心が躍る本物のジャズ音楽を届けます。 美しい音色と共に広がる心地よいリズムとジャズならではの即興演奏による躍動感、子どもたちの感性を刺激し、創造力・発想力を開花させます。子どもたちの心に一生残る夢のようなステージを！ 想像をはるかに超えた、子どもたちが熱狂する感動プログラムです。</p> <p><b>前半 「別添あり」⇒ 別添 (1)</b> <span style="float: right;"><b>※別添を必ずご参照下さい！</b></span></p> <p>●ジャズのスタンダード「A列車で行こう」「モーニング」 ●楽器の紹介と、メンバーの自己紹介 ●ジャズの種類を歴史を交えて寺井尚子が語り、代表曲を演奏 ●校歌のジャズアレンジ</p> <p><b>後半 「別添あり」⇒ 別添 (2)</b></p> <p>●共演 (多彩な企画) ●メドレー (アニメのテーマ曲からクラシック曲まで。リクエストにも応じます)「ルパン三世のテーマ」等 ●ラテン曲でリズムの掛け合い「オルフェのサンバ」●寺井尚子フューチャリング「スペイン」(感動的なヴァイオリンの響き) ●アンコール「上を向いて歩こう」振付もあり (ワークショップにて指導)</p> <p style="text-align: right;">公演時間( 100 分) 休憩10分含</p>			
著作権	<input type="radio"/>	制作団体が所有	<input type="radio"/>	制作団体以外が所有する事項が含まれる 取得済 (制作団体以外が所有する事項が含まれる場合) 許諾状況
演目概要	<p>ジャズ特有のインプロビゼーション(即興)とアンサンブルという演奏スタイルには「個性」と「協調」が共存しており、多様性を求められる一方で多種多様な文化の受容が必要とされる時代に、子どもたちにぜひ体験していただきたい音楽です。 そして、なによりも、大人であってもめったに体験できない、ハイレベルなパフォーマンスは圧巻で、子どもたちを魅了します。</p> <p><b>「別添あり」⇒ 別添 (3)</b></p> <p>また、このプログラムは、文化庁主催「文化芸術による子供育成総合事業」の目的に忠実に沿った内容の公演です。</p> <p>1) 一流の文化芸術団体による公演 2) 文化の担い手となる子供たちの発想力やコミュニケーション能力の育成 3) 芸術家の育成 4) 芸術鑑賞能力の向上</p> <p>ジャズは、アメリカ発祥の文化であると同時に、様々なジャンルの音楽や楽器と融合できる可能性を持つという特性を持ちます。 元文化庁長官、現・新国立美術館館長である青木保氏に、教育におけるジャズ音楽の重要性を、弊団体の活動に寄せて寄稿頂いたものも掲載致します。<b>「別添あり」⇒ 別添 (4)</b></p>			
演目選択理由	<p>★小学1年生も、最後まで夢中になって楽しめる演目としました。ジャズは、大人の音楽のイメージがありますが、子どもたちだからこそ、伝えたい音楽です。 構成にもこだわり、ジャズのスタンダード曲も披露するとともに、子どもたちが親しみのある校歌や、アニメのテーマ曲等を、ジャズアレンジで届けます。また、リズムにのせて手拍子、かけ声、からだを動かすボディパーカッション等を取り入れ、わくわくする演目が続きます。</p> <p>※ 各演目、番号順に演目選択理由に記載しています。詳細は、別添をご参照ください。</p> <p><b>「別添あり」⇒ 別添 (5)</b></p>			
児童・生徒の共演、参加又は体験の形態	<p>下記の形態で共演・参加・体験をします。</p> <p>1) 親しみのある楽曲を準備してもらい、希望者(各学年、クラス、吹奏楽部など)と、演奏家との共演を行います。(約50名まで対応可能) (2~3曲まで対応可能)</p> <p>2) 歌の共演を行います。(全校児童、全校生徒)</p> <p>3) ジャズスタンダード曲の共演 (全校児童、全校生徒)</p> <p>4) ボディパーカッションとかけ声を交えたコラボレーションを行います。(全校児童、全校生徒)</p> <p>5) アンコール曲「上を向いて歩こう」に振付をつけて一緒に踊ります。(全校児童、全校生徒)</p> <p><b>「別添あり」⇒ 別添 (6)</b></p>			
出演者	<p>●古野光昭(ウッドベース・バンドマスター) 東京音楽大学卒業。NHK交響楽団元首席・楡山薫氏に師事。渡辺貞夫、阿川泰子グループ等のレギュラーを歴任し、久石譲ワールドリムオーケストラ(新日本フィル)のツアー、レコーディングにも参加。ベースの巨匠とよばれる、日本を代表するベーシスト。</p> <p>●寺井尚子(ヴァイオリン) 世界で大活躍するジャズ・ヴァイオリニスト。「平成21年度文化庁芸術選奨文部科学大臣新人賞(大衆演芸部門)」南里文雄賞受賞(2008年)、ジャズディスク大賞(日本ジャズ賞)等受賞歴多数。</p> <p>●川崎哲郎(サクソックス&amp;フルート) 名実ともに日本でナンバーワンのテナー・サクソックス奏者。スイングジャーナル誌(現在廃刊)の読者人気投票では、毎年第一位を独占し続けた。日本を代表するサクソックス奏者であり、現在は、右にできるものはいない実力者と認知されている。フルート演奏も得意としている。</p> <p>●菊池太光(ピアノ) 若手トップピアニストと高く評価されている。</p> <p>●小松伸之(ドラムス) 音楽性の高いドラマー。迫力のあるリズムから、繊細な曲までこなすやさしさ溢れるドラミングが特徴。 <b>メンバー表別添</b></p>			
公演出演予定者数(1公演あたり)	出演者: 5 名 スタッフ: 13 名 合計: 18 名	機材等 運搬方法	積載量: 3 t ロング 車長: 5 m 台数: 2 台 ハイエース1台	

【公演団体名 フルノーツ with 寺井尚子 ジャズ・クインテット】

実施に当たっての 会場条件	実施条件等確認書①をご確認ください。					
会場設営の所要時間 (タイムスケジュール)の 目安	前日仕込み	無	会場設営の所要時間			4～5 時間程度
	到着	仕込み	本公演	内休憩	撤去	退出
	8時	8時～12時30	13時30～15時10	10分	15時30～17時	17時30
	※本公演時間の目安は、午後1時乃至1時30分からの概ね2時限分程度です。					
児童・生徒の 参加可能人数	ワークショップ		1名～2000名			
	本公演		1名～2000名			
ワークショップ 実施形態及び内容	<p>ワークショップを実施することにより、本公演では、よりジャズ音楽に親しみ、メロディーとリズムを自然に楽しめるようになります。参加型かつ、アーティストと子どもたちとの共演を中心としたプログラムとし、小人数～全校児童生徒対応可能です。ワークショップのみでも、ジャズを理解しリズムを感じることができるようになるほど、充実した内容です。</p> <p>▼実施形態 <b>詳細は、「別添あり」⇒ 別添（7）（8）</b></p> <p>主指導者：古野光昭（バンドマスター・ベース）、ピアニスト 他3名 合計5名で実施</p>					
ワークショップ 実施形態の意図	<p>●ジャズに親しんでもらうために、盛りだくさんの体験プログラムで構成しています。</p> <p>●体験プログラムを通じて、ミュージシャンとのコミュニケーションが深まり、音楽への関心、本公演への期待度も高まります。</p> <p>●過去の実施校の校長先生から、「ワークショップだけでもすでに完成形で、素晴らしい、もうこれで終わりでもいいと思っていました」という声を頂くほどの充実した内容で、このワークショップを体験することで、公演をさらに楽しむことができます。 <b>詳細は、「別添あり」⇒ 別添（9）</b></p>					
特別支援学校での 実施における工夫点	<p>先生方と、密に連絡を取り合い、ご相談しながら進めていきます。</p> <p>i) ワークショップ、本公演において、ご希望のスタイルがあればお伝えください。</p> <p>ii) ミュージシャンの話の長短、演奏曲目、楽器が得意な子供との共演曲目のリクエスト等、詳細に打ち合わせます。</p> <p>iii) 「Cジャムブルース」等の共演形態については、可能かどうかご相談させていただきます。</p> <p>iv) ワークショップ時には、楽器に触れる、質問コーナーを充実させる等、できるだけミュージシャンとコミュニケーションがとれるように、工夫します。 v) ワークショップ、本公演共に、音量や照明に関して、適度な状態をご相談させていただきます。確認の時間を設けますので、ご相談ください。</p>					
実施可能時期	実施可能時期スケジュール表をご確認ください。					

リンク先	No.2	【公演団体名 フルノーツ with 寺井尚子 ジャズ・クインテット】
<p>項本公演演目</p> <p>原作/作曲 脚本 演出/振付目内容</p> <p><b>別添(1)</b></p> <p><b>前半</b></p>	<p>▼内容</p> <p><b>【オープニング】ジャズミュージシャンの紹介と呼び出し</b></p>  <p><b>【1】ジャズのスタンダードナンバー、わくわくする名曲でスタートします！ 演奏</b> 「A列車で行こう」/作曲=ビリー・ストレイホーン</p> <p><b>【2】ジャズ特有のブルーノート音階で表現され、CMでもお馴染みの曲です。 演奏</b> 「モーニング」/作曲=ボビー・ティモンズ（リクエストにより「テイクファイブ」も対応可）</p> <p><b>【3】楽器の紹介と、メンバーの自己紹介です。 トーク + 演奏</b> また、その楽器を使って演奏します。（演奏曲は変更されることがございます）</p> <p><b>i) テナー・サクソ</b>：主にメロディーを奏でる楽器です。日本でNo.1の実力を持つ、川嶋哲郎ならではの技術を使い、パーカッション風の音色、ロングトーン、高音から低音まで紹介します。 「オーバー・ザ・レインボー」/作曲=ハロルド・アーレン</p> <p><b>ii) ピアノ</b>：お馴染みの楽器ですが、本名は「ピアノフォルテ」といいます。大きな音から、小さな音まで奏でられる楽器として、名づけられました。卓越したテクニックを持つピアニストが、鍵盤をフルに使い演奏します。 「ワルツ・フォー・デビー」/作曲=ビル・エヴァンス等</p> <p><b>iii) ウッドベース</b>：弦楽器では一番大きな楽器で、クラシックでは「コントラバス」と呼ばれ、低い音を担当します。ワークショップでは、この楽器の体験機会があり、本公演時には子どもたちにとって馴染みのある楽器となっています。 「ゲゲゲの鬼太郎」/作曲=いずみたく等</p> <p><b>iv) ドラムス</b>：バスドラが大太鼓、スネアドラムが小太鼓にあたり、別々に演奏していたものを一人で演奏できるようにしたものが、ドラムスです。ジャズを演奏するために作られました。マーチのリズムから、8ビート、16ビート等、演奏しながら紹介します。</p> <p><b>v) ヴァイオリン</b>：世界で大活躍する寺井尚子が、ヴァイオリンの特徴を伝えます。普通に演奏したメロディーと即興演奏を、ヴァイオリンで弾き比べます。「翼をください」/作曲=村井邦彦 等</p> <p><b>【4】音楽に種類があるようにジャズにも種類があります。 トーク（寺井尚子） + 演奏</b> 寺井尚子が、ドラマチックにジャズの歴史を交えながら、ジャズのスタイルを話し、代表曲を演奏します。まるで映画のワンシーンを見ているような寺井尚子の語りは、ジャズの魅力を際立たせます。</p> <p><b>i) デキシーランド・ジャズ</b> アメリカのニューオーリンズで自然発生的に誕生し、発達していきました。代表曲「聖者の行進」/アメリカ民謡</p> <p><b>ii) スイング・ジャズ</b> 労働者から誕生したジャズは、多くの人に受け入れられ、大編成（オーケストラ）で演奏することが主流になりました。クラシックしか演奏できないカーネギーホールでもジャズが演奏されたほど、広く普及していきました。 代表曲「シング・シング・シング」/作曲=ルイ・プリマ</p> <p><b>iii) モダン・ジャズ</b> 本来の即興演奏が好きなジャズメンたちが、セッションをして進化させたスタイルです。高度なテクニックが必要となり、スピードも早くなりました。 代表曲「ドナ・リー」/作曲=チャーリー・パーカー</p> <p><b>【5】校歌をジャズアレンジにして、子供たちに届けます。 演奏</b> いつもの校歌が、全く別の音楽に変化して、ジャズの面白さを体感します。驚きと感動が生まれます。</p>	

リンク先	No.2	【公演団体名 フルノーツ with 寺井尚子 ジャズ・クインテット】
<p>項本公演演目</p> <p>原作/作曲 脚本 演出/振付目内容</p> <p><b>別添(2)</b></p> <p><b>後半</b></p>	<p><b>【6】共演！！ コラボレーション！ ミュージシャン + 子どもたち</b> 一流の演奏家と、子どもたちが、一緒に演奏できる素敵なプログラムです。 即興の技術を持つジャズ演奏家だからこそ可能な共演スタイルです。</p> <p>i) ステージ下にスタンバイして、鍵盤ハーモニカまたはリコーダー等で、代表の子どもたちと共演します。 ※学年の選抜、部活等、学校の希望に添い行います。2団体まで可能です。 曲目：ラバースコンチェルト、茶色の小瓶、ポップス、民謡等。基本的にどんな曲、楽器でも対応可能です。</p> <p>ii) 歌とのコラボレーション 一流の演奏家の音楽と共に、みんなで合唱します。(今月の歌等、リクエストに応じます。)</p> <p>iii) ジャズの名曲を、全校生徒と共演します。「Cジャムブルース」/作曲=デューク・エリントン テーマが、「ソ」と「ド」だけでできている、簡単な曲です。ワークショップで、耳で覚えて練習します。 そして、本公演では、即興演奏も入り、本格的にみんなで共演を行います。 &lt;小学生&gt;ミュージシャンが即興演奏を行います。 &lt;中学生&gt;生徒の希望者を募り、ミュージシャンと一緒に即興演奏を行います。(先生の参加も大歓迎です)</p> <p>iv) ボディパーカッションを楽しみます。(手と足とかけ声を使います)「テキーラ」/作曲=ダニエル・フローレス ワークショップで体験したボディパーカッションを参考に、本公演では、希望者がステージに上がり先導します。 ラテンの曲ですが、途中で4ビートに変わり、メリハリのある楽しい編曲です。 ★かけ声は、お酒の種類のテキーラでなく、学校名をあてはめます。 (例：入江小学校は「イリーエ!」、南月寒小学校は、愛称の「ナンツキ!」等)</p> <p>v) アンコール曲に振付をして、一緒におどりながら楽しめます。「上を向いて歩こう」</p> <p><b>【7】メドレー 演奏</b> 子どもたちに馴染みのあるアニメの曲や映画音楽、ポップス等を中心に、ジャズアレンジで演奏します。 ※学校のテーマソング、地域に根ざしている曲等リクエストにも応じます。臨機応変に対応可能なジャズの特徴です。 &lt;小学生&gt; i) 「崖の上のポニョ」/作曲=久石譲 (映画ジブリの名作より) ii) 「となりのトトロ」/作曲=久石譲 or 「夢をかなえてドラえもん」/作曲:黒須克彦 iii) 「パプリカ」/作曲=米津玄師 等、旬な曲。 iv) 「星に願いを」/作曲=リー・ハーライン (ワークショップで学習したファースト4ビートで演奏します。ジャズのリズムにのって手拍子をしましょう。) v) 「ルパンⅢ」/作曲=大野雄二 (ジャズミュージシャン作曲のアニメ曲です) &lt;中学生&gt; i) 「ミッション：インポッシブル」/作曲=ラリ・シフリン (映画：スパイ大作戦) ii) 「手紙」/作曲=アンジェラ亜紀 or「愛をこめて花束を」作曲/多保孝一 等 (感謝を表現した曲を選択) iii) 「ボレロ」作曲/ラヴェル (クラシック曲もジャズアレンジにして届けます) iv) 以降は、上記と同じ、又はリクエスト曲</p> <p><b>【8】サンバのリズムは、自然に身体が動きます。演奏+ 子どもたち</b> 有名なサンバの曲です。ワークショップではサンバのリズムも学習します。 「オルフェのサンバ」/作曲=ルイス・ボンファ ★曲中で、ドラムスがリズムの先導を行い、子どもたちが聞き取ったリズムを手拍子できざみます。2小節ずつのリズムの掛け合いです。マカスの参加も募ります。</p> <p><b>【9】寺井尚子が、チック・コリアの名曲を演奏します。</b> 繊細でもの悲しく、かつエキサイティングに子どもたちを魅了します。演奏 「スペイン」/作曲=チック・コリア</p> <p><b>【アンコール】演奏 + 子どもたち</b> 日本だけでなく世界中で愛されている名曲です。簡単な振り付けをワークショップで行い、一緒に踊ります。 「上を向いて歩こう」/作曲=いずみたく</p> <p>公演時間 (90分) ※休憩を入れると100分程度。 途中で一度休憩を入れる予定です。休憩時時間等、ご相談させていただきます。 【5】～【6】の間、5～10分程度希望します。</p>	

リンク先	No.2	【公演団体名 フルノーツ with 寺井尚子 ジャズ・クインテット】
<p>演目概要</p> <p>別添(3)</p>		<p>ジャズ特有のインプロビゼーション（即興）とアンサンブルという演奏スタイルには「個性」と「協調」が共存しており、多様性を求められる一方で多種多様な文化の受容が必要とされる時代に、子どもたちにぜひ体験していただきたい音楽です。そして、なによりも、大人であってもめったに体験できない、ハイレベルなパフォーマンスは圧巻で、子どもたちを魅了します。</p> <p>※過去の学校公演の様子を、資料動画でご確認ください。  <a href="https://vimeo.com/285757709">https://vimeo.com/285757709</a> (PW:1kodomom)          特に、動画後半に収録されている中学校公演（37分40秒頃から）の中の「テキーラ」（49分25秒頃）「ボレロ」（54分45秒頃）の、子どもたちが本物の音楽に感動し、会場が沸き立つ様子をぜひご覧ください。</p> <p><b>また、このプログラムは、文化庁主催「文化芸術による子供育成総合事業」の目的に忠実に沿った内容の公演です。</b></p> <p><b>1) 一流の文化芸術団体による公演</b>          日本のジャズは、世界の中でも特に質が高いと評価されています。その日本ジャズ界において各楽器部門の実力一番であり、他のジャズ演奏家の追従を許さない古野光昭（ウッドベース）、寺井尚子（ヴァイオリン）、川嶋哲郎（テナーサックス）が中心となり、若手実力一番と言われる菊池太光（ピアノ）、小松伸之（ドラムス）が加わるという、ジャズを知る人であれば垂涎のメンバーで結成されました。これ以上のメンバーでの子どもたちを対象としたジャズのプログラムは他にはないでしょう。子どもたちのために決して手を抜かずステージを展開する姿勢は圧巻です。</p> <p><b>2) 文化の担い手となる子供たちの発想力やコミュニケーション能力の育成</b>          曲間でお互いコミュニケーションを取りながら、会話のようにその場で音楽を創り演奏する即興演奏が取り入れられているジャズは、数多くある音楽ジャンルの中でも、特に発想力・コミュニケーション能力が必要とされる音楽です。ワークショップ、本公演での鑑賞・共演を通して、発想力・コミュニケーション能力の大切さを体感し、能力を育成します。</p> <p><b>3) 芸術家の育成</b>          「小中学校の時代に経験したかった」「小中学校時代にこの公演を聞いていれば、音楽の道に進んだと思う」という、大人たちからの感想を数多くいただいています。一流のミュージシャンとの共演体験は、音楽の道を志すきっかけともなりえます。最高の感動体験をすることがきっかけとなり、その道を極めることがあります。この演目は、その人生の重要な決定に値する充実したプログラムであり、一流の演奏家の技術と思いがつまっています。</p> <p><b>4) 芸術鑑賞能力の向上</b>          ジャズは、アメリカ発祥の文化であると同時に、様々なジャンルの音楽や楽器と融合できる可能性を持つという特性を持ちます。このようなジャズ音楽を通して、学校で必須学習とされるヨーロッパのクラシック音楽だけでなく、様々な国の音楽や文化への興味を喚起し、多様な文化への理解を深めることで、芸術鑑賞に必要な心のアンテナを広げます。          また、質の高い音楽による感動体験をとおして、子どもたちの生活の一部に音楽が加わることにつながり、他の音楽や舞台への関心を高める可能性も大きくなります。</p> <p>⇒ 次の「別添（3）」には、元文化庁長官、現・新国立美術館館長である青木保氏に、教育におけるジャズ音楽の重要性を、弊団体の活動に寄せて寄稿頂いたものの一部を掲載しております。</p>

リンク先	No.2	【公演団体名 フルノーツ with 寺井尚子 ジャズ・クインテット】
<p>演目概要</p> <p>別添(4)</p>		<p>下記は、元文化庁長官、現・新国立美術館館長である青木保氏に、教育におけるジャズ音楽の重要性を、弊団体の活動に寄せて寄稿頂いたものです。</p> <p>「フルノーツ・フォー・キッズ」CD ライナーノーツ推薦文より</p> <p>-----</p> <p>「(前略) …ジャズ音楽は、即興演奏のすばらしさとそれぞれの楽器を奏でるプレーヤーたちが対等に演奏をしあいながら、全体としての音楽を構成していくプロセスが、聴いているひとたちに他の音楽にはないような解放感と感動を与えます。そこでは音楽における創造的な力の躍動が直接伝わってきます。… (中略) …</p> <p>私は、21世紀日本の教育にとっても必要とされることの一つは、生徒たちの創造力をいかに養うか、生徒たちから創造する力をいかに引き出すかにあると考えています。そのために「文化芸術」教育は絶対に欠かせません。オバマ大統領も大統領選挙に出た際のマニフェストで、グローバル化する世界で競争に打ち勝つためには「創造力」の養成が必要になると主張して、学校教育における「芸術教育」の重要性を強調していました。芸術を知ることによって創造性に目覚めさせる。直に芸術作品や音楽演奏に接するだけでなく、子供たちがデッサンをし、楽器を鳴らし、何かを創り出す。こうした作業が創造性を刺激し、活性化する。「文化芸術」教育の重要性に関しては日本の教育にはいまだ理解が少なからず欠けている面が目立つことも事実ですが、「文化芸術」による「創造力」の開発は大きな教育の課題だと思います。こうしたことを考えますと、「文化芸術」教育の一環として「ジャズ音楽」が重要なのは、これまで述べたジャズ音楽のもつ自由な形式、即興性を重んじ、対等な演奏の交換を楽しむ、その「創造力」の活性化作用にあると思うのです。子供が、生徒が、ジャズ音楽に接し楽しみ即興性のもたらす創造作用をどこかで受け止める。ジャズ音楽の自由さや即興性、対等性といっても、それは勝手に気ままにやるといったことでは決してなく、あくまでもジャズという音楽の性格と枠組みを十分理解したうえでのこと、その中での創造性の発展のためなのです。ジャズ音楽はグローバル化し、今や世界のどこでも演奏されているといってもよいでしょう。私はジャズ音楽が教育においても大きな役割を果たすことのできる文化芸術の一分野であると強調したいと思います。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   <div data-bbox="903 931 1062 1160"> <p>寺井尚子フルノーツ フルノーツ・フォー・キッズ</p> <p>収録 曲名 01. 02. 03. 04. 05. 06. 07. 08. 09. 10. 11.</p> </div> </div> <p>※ CDのジャケットは、巡回公演を行った小学校で、感想文と一緒に頂いた小学4年生の絵を使用しています。</p> <p>-----</p> <p>下記は、実施校の先生方からのメッセージの一部です。</p> <p>●日本を代表する方々が集っての奇跡のコンサートが我が校で開催されたことを本当にありがたく思います。子ども達のきらきらした瞳、笑顔、嬉々として飛び跳ねる姿は、まさに演奏してくださった方への憧れであり、驚きであり、賞賛であったと思います。多くの子ども達にとっては、初めて出会った「ジャズ」、迫力ある演奏に圧倒され、すばらしい音色に心癒され、一緒に共演できたことの嬉しさに「一生の思い出ができた」との感想もありました。自分達が日頃練習している鍵盤ハーモニカやリコーダーでの演奏に、「同じ楽器なのにどうしてあんなにきれいに鳴るの?」「自分も上手になりたい」など音楽のおもしろさを体感し、興味が湧き、思わず体が動き出してしまっただけでなく、あっという間に終わった公演でした。</p> <p>●贅沢な時間を過ごすことができ、その質の高さに圧倒され続けました。生徒たちにとっては、生でその演奏に触れることができ音楽の持つ(本物の持つ)力を感じ取ったことだと思います。そして、ただ聞くことだけでなく、全校生徒と色々な形で共演時間を持ってもらい、コミュニケーションをさせてもらい、さらに音楽の力を知ることができたのではないかと思います。</p> <p>●ジャズという大人が好む音楽を子供たちがどのように感じるかとても楽しみにしていました。想像以上に子供たちの輝く目を見て、この芸術鑑賞を選んで本当に良かったと思いました。本物の演奏を間近で見ることができたことやアーティストの方たちが楽しく演出して頂いたおかげだと心から感謝しています。そして、今では、昼放課になると放送委員が自主的にジャズの音楽を流しながら過ごす小学校になりました。</p>

リンク先	No.2	【公演団体名 フルノーツ with 寺井尚子 ジャズ・クインテット】
<p>演目選択理由</p> <p>別添(5)</p>	<p>★小学1年生でも、最後まで夢中になって楽しめる構成としました。</p> <p>(番号はプログラム番号に対応しています。)</p> <p><b>【1】「A列車で行こう」</b>スタートの曲は、楽しく、躍動感あふれる、最も有名なジャズのスタンダード曲を選びました。子どもたちがワークショップで覚えた、ジャズ特有のアフタービートの手拍子を誘導でき、元気よく期待感に胸を膨らませて始まります。</p> <p><b>【2】「モーニン」</b>ジャズ特有のスケール「ブルーノート」を使った代表曲を演奏します。CMでお馴染みの曲です（希望があれば「テイクファイブ」でも可）。公演前半は、演奏者の音楽性とテクニックが伝わるように、ジャズのスタンダード曲を続けて演奏し、ジャズのビートをしっかり感じとります。</p> <p><b>【3】楽器紹介</b>は、子どもたちが、演奏してみたいと好奇心を持つよう、演奏者各自が親しみやすく解説し、楽器の特徴を生かしたポピュラーな音楽を演奏します。</p> <p><b>【4】ジャズの種類について</b>、楽しくわかりやすく解説します。デクシーランド・ジャズ、スウィングジャズ、モダン・ジャズと、ジャズには色々な種類があり、歴史とともにリズムやメロディーも少しずつ変化していくことを伝えて、代表曲を演奏します。また、どの音楽のジャンルにも、歴史と種類があることを伝え、音楽に興味関心を持つことも目標としています。</p> <p><b>【5】校歌をジャズアレンジ</b>して演奏します。いつもの校歌が、ジャズならではのリズムの変化や即興演奏を交えた編曲で、まったく違う楽曲に聞こえる、驚きと感動のプログラムです。校歌がこんなに素敵なお曲だと思わなかった、ジャズに変化すると違う曲に聞こえる等、音楽に好奇心を持つ、大きなきっかけになっています。先生方の感動も大きく、演奏したものを録音し、プレゼントしています。</p> <p><b>【7】共演</b>は、子どもたちにとって、最も思い出に残るシーンです。一流のミュージシャンと一緒に演奏できる機会は貴重であり、できるだけ多くの子どもたちが、演奏家を身近に感じることが出来る時間を持ちたいと考え、4つのプログラムを準備しました。できるだけご希望に添えるよう、学校とご相談しながら行きます。</p> <p><b>【8】「メドレー」</b>子どもたちの馴染みのある曲を演奏します（約5曲）。どんな曲でもジャズになるというジャズ音楽の特性を生かし、子どもたちに親しみのある曲を演奏します。曲目は公表せず、わくわく感を誘います。自由に歌ったり踊ったりできる魅力的なお曲を選び、リクエスト曲も受け付けて構成します。</p> <p><b>【9】ジャズのスタンダードとして演奏されることが多いサンバ</b>を選曲しました。途中で、ドラムスが、わかりやすいリズムを先導し、子どもたちが真似をして手拍子します。音楽に合わせて身体をうごかすことが気恥ずかしい年頃の子どもたちにも、自然に参加してもらえる工夫をしています。</p> <p><b>【10】「スペイン」</b>は、ピアニストであるチック・コリアの名曲ですが、ジャズ・ヴァイオリン奏者・寺井尚子をフィーチャリングして演奏します。寺井尚子の演奏する「スペイン」を聞きたい音楽ファンが数多いことも有名です。鳥肌が立つほどの感動をおぼえます。「アランフェス協奏曲第2楽章（アダージョ）/作曲・ホアキン・ロドリゴをイントロとして用い、その後は一転アップテンポになる非常にエキサイティングな楽曲です。</p> <p><b>【アンコール】「上を向いて歩こう」</b>常に好きな歌の上位にランキングされ、日本人が親しみを感じ海外でも有名な名曲です。（ご希望により1曲短めに追加も可能です。臨機応変に対応します。）</p>	

リンク先	No.2	【公演団体名 フルノーツ with 寺井尚子 ジャズ・クインテット 】
<p>児童・生徒の共演、参加又は体験の形態</p> <p><b>別添(6)</b></p>	<p>共演参加の形態は、多様に準備しています。</p> <p><b>1) 親しみのある楽曲を準備してもらい、希望者（各学年、クラス、吹奏楽部など）と、演奏家との共演を行います。</b>（1グループ約50名まで、2グループまで対応可能）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●ワークショップでも、共演をしてリズムが加わることで音楽がより楽しく感じることを学習しますが、本公演では、本格的なコンサートで共演するわくわく感を味わいます。</li> <li>●本公演の前に、10分程度のリハーサルを行います。プロの演奏家が、即興でリズムやメロディーを加えていくテクニクを、間近で体験することができます。これは、一般の音楽関係者でも驚くような、幣団体の演奏家の技術と音楽性から可能な形態であり、子どもたちに大きな刺激を与えます。</li> </ul> <p><b>2) 歌の共演を行います。</b>（全校児童、全校生徒）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●歌を共演します。日常のピアノ伴奏の合唱でなく、ヴァイオリン、ベース、ドラムス等を加えた音楽を聞きながら声を出すことで、歌う楽しさをさらに感じます。</li> </ul> <p><b>3) ジャズスタンダード曲の共演</b>（全校児童、全校生徒）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●全員で共演する「Cジャムブルース」は、「ソ」と「ド」だけでできたシンプルな曲です。簡単でありながら音楽として素晴らしく、みんなで演奏すると、もっと楽しいということ学びます。</li> <li>●即興を入れて共演し、サクソ奏者・川嶋哲郎も、リコーダーや鍵盤ハーモニカを使って参加します。身近な楽器によるアドリブに驚かされます。</li> </ul> <p>（学校の先生方にも、ご自身の好きな楽器でアドリブ参加を募ります。子どもたちは、大変喜びます。）</p> 	<p><b>4) ボディパーカッションとかけ声を交えたコラボレーションを行います。</b>（全校児童、全校生徒）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●吹奏楽部でも人気のある「テキーラ」というラテン曲です。子どもたちが、ボディパーカッションを使ってリズムを感じながら共演します。ラテン曲ですが、途中でジャズのリズム「4ビート」に変化します。かけ声は、「テキーラ」でなく、学校名とします。またワークショップで行った内容を参考にして、希望者が、ボディパーカッションを創作し、本公演では、ステージに上がってみんなを先導します。アンコールで「テキーラをお願いします」と声がかかるほどの人気プログラムです。</li> </ul> <p><b>5) 「上を向いて歩こう」の踊りをワークショップで練習し、アンコールで踊ります。</b>（全校児童、全校生徒）</p> <p><b>6) 「オルフェのサンバ」では、ドラムのリズムと手拍子でかけ合いをします。</b>（全校児童、全校生徒）</p>  

リンク先	No.3	【公演団体名 <u>フルノーツ with 寺井尚子 ジャズ・クインテット</u> 】
<p>ワークショップ 実施形態及び内容</p> <p><b>別添(7)</b></p>	<p>▼内容</p> <p><b>【1】ジャズという言葉を知っていますか？</b> 音楽には、クラシック、シャンソン、ポップス、民謡等、たくさんの種類があり、ジャズは、音楽の種類のひとつであることを伝えます。ジャズの特徴を理解するために、馴染みのある曲を使って、普通の演奏とジャズアレンジで演奏したものを比べます。(曲目例：「ドレミの歌」「きらきら星」等)</p> <p><b>【2】ミュージシャンが、音楽を好きになったきっかけ、ジャズの魅力を、自己紹介を交えながら話します。</b></p> <p><b>【3】希望者を募り、子どもたちに前に出てもらい「ねこふんじやった」「エリーゼのために」等をピアノで弾いてもらいます。</b> 共演可能な場合は、子どもたちの演奏にミュージシャンが加わります。また、ベートーベン作曲の「エリーゼのために」が編曲されたものとして、「情熱の花」を演奏します。</p> <p><b>【4】ジャズの手拍子の取り方を指導します。</b> リズムには、表の拍と裏の拍があります。一般的な曲は、表（オンビート）に拍子をとりませんが、ジャズは裏（オフビート）が基本です。 <u>「イチ ニイ サン シイ」(オンビート) ⇒ Jazz「イチ ニイ サン シイ」(オフビート)</u></p> <p><b>【5】ジャズの曲「A列車で行こう」を演奏します。</b>【4】で練習した手拍子にチャレンジします。</p> <p><b>【6】子どもたちの演奏に、ミュージシャンがリズムをつけます。</b> あらかじめ、音楽学習で練習している曲を準備していただき、子どもたちのリコーダーや鍵盤ハーモニカ等の普段どおりの演奏に、演奏家がバックアップで加わります。同じ演奏でも、ジャズのリズムが加わったことで、音楽がとても生き生きすることを体験します。曲目例：ぶんぶんぶん、きらきら星、パフ、ラバースコンチェルト等。 学年単位でも、全員演奏でも対応可能ですが、子どもたちは、演奏することで精一杯な場合があり、可能であれば2曲以上準備して、お互いに聴いてみると効果的です。</p> <p><b>【7】「ウッドベース」の楽器紹介と、演奏を体験します。</b> ・ウッドベースの特徴を伝えます。 クラシックでは「コントラバス」と呼び、弦楽器では一番大きな楽器であること、ジャズでもクラシックでも、一番低い音を担当し、クラシックでは、アルコ（弓）を使って演奏することが多く、ジャズでは、ピチカート奏法を多く使用すること等を伝えます。 ・開放弦を使って、「聖者の行進」を演奏します。 ベーシストが見本を見せて、子どもたちから希望者を募り、ピアニストと共演します。3～6名を予定していますが、大人気のコーナーですので、体験できなかった子どもたちには、休憩時間に楽器を触る機会を設けます。</p>	<p><b>【6】</b> </p> <p><b>【7】</b> </p>

リンク先	No.3	【公演団体名 フルノーツ with 寺井尚子 ジャズ・クインテット】
<p data-bbox="172 994 384 1055">ワークショップ 実施形態及び内容</p> <p data-bbox="204 1167 341 1205">別添(8)</p>	<p data-bbox="426 271 1066 297"><b>【8】本公演で共演するジャズの曲「Cジャムブルース」を練習します。</b></p> <p data-bbox="426 304 1437 398">「ソ」と「ド」だけを使ったテーマの簡単なメロディーを、耳で聴いて覚えます。全員に、鍵盤ハーモニカまたはリコーダーを持参いただき参加をお願いしています。ワークショップ時の練習で、ほとんどの子どもたちが演奏できるようになります。</p> <p data-bbox="426 441 826 468"><b>【9】ジャズの特徴である即興演奏について</b></p> <p data-bbox="426 474 1449 600">即興演奏は、楽譜などにたよらず、その場で作曲や編曲をして演奏する手法であり、ジャズの演奏家は、即興演奏をしたいがために、ジャズ理論を勉強し努力していることを話し、実演しながら、即興の楽しさを伝えます。 &lt;中学生の場合&gt;ジャズ特有のスケール「ブルーノート」について、簡単に実演し説明します。本公演での、即興演奏の希望者も募り、本番で行えるよう指導します。</p> <p data-bbox="426 642 1002 669"><b>【10】リズムの種類によって、曲が変化することを体感します。</b></p> <p data-bbox="426 676 1142 703">「星に願いを(映画ピノキオのテーマ曲)」を使って、リズムを変えて演奏します。</p> <p data-bbox="426 710 1102 770">①ノーマル ②4ビート ③ワルツ/3拍子 ④サンバ ⑤ファースト4ビート ⑥8ビート(ジャズロック)等</p> <p data-bbox="426 777 1445 837">⑤の早い4ビートでのオフビートの手拍子はとても難しいですが、子どもたちは、夢中になってチャレンジします。本公演でもリズムにのれるように曲の変化を楽しみながら練習します。</p> <p data-bbox="426 880 802 907"><b>【11】ボディパーカッションを練習します。</b></p> <p data-bbox="426 913 959 940">2つに分かれて、それぞれのリズムのパートを練習します。</p> <p data-bbox="426 947 1445 1041">「テキーラ」というラテン曲を使用します。かけ声には学校名をあてはめて、練習します。ラテンのリズムから、4ビートに変化して、最後にかけ声という、とてもノリの良い曲です。ワークショップを参考にして、ボディパーカッションを創作し行う希望者を募ります。希望者は本公演の際にステージに上がり、皆を先導します。</p> <p data-bbox="426 1084 719 1111"><b>【12】質問コーナーを設けます。</b></p> <p data-bbox="426 1153 1437 1214"><b>【13】「セント・トーマス/作曲 ソニー・ロリンズ」「イズント・シー・ラブリー/作曲 スティービー・ワンダー」等、ノリの良い曲を演奏し、みんなで体を動かし、リズムにのって楽しむことを体験します。</b></p> <ul data-bbox="426 1249 651 1276" style="list-style-type: none"> <li>●演奏家との共演体験</li> </ul>  <ul data-bbox="426 1556 1059 1583" style="list-style-type: none"> <li>●ワークショップから本公演につなぐ練習を行います。(11 テキーラ)</li> </ul> 	

リンク先	No.3	【公演団体名 フルノーツ with 寺井尚子 ジャズ・クインテット】
<p>ワークショップ 実施形態の意図</p> <p><b>別添(9)</b></p>	<p>それぞれのプログラムの意図は以下のとおりです。 (番号はワークショップのプログラム番号に対応しています。)</p> <p>【1】ジャズは音楽のひとつの種類であり、どんな違いがあるのか、身近な曲を聴き比べ、メロディーがリズムにのること、音楽が楽しくなるという実感がうまれます。</p> <p>【2】子どもたちが、音楽に興味を持つきっかけづくりのひとつとして、自己紹介を含めて話します。</p> <p>【3】「ねこふんじやつた」を、前に出て弾いてみたい！という希望者を募ることで、会場が沸き、固さがとれて、急に和やかになる、大切なプログラムです。 また、過去に「エリーゼのために」が編曲されて歌謡曲として流行ったことも、曲を演奏して披露することで、子どもたちの音楽への興味が高まります。</p> <p>【4】【5】アフタービートの手拍子の練習では、音楽にのって手拍子できるように、ジャズのリズムを体で感じることを目標にします。</p> <p>【6】普通のメロディーを演奏しているのに、ジャズを演奏しているかのように、音楽が変化するのを体験します。聴いている子どもたちも、リズムが変わると音楽が魅力をましていくことを、実感します。ジャズならではの、コラボレーションです。</p> <p>【7】楽器に興味を持つことを目指しています。大人でも触れる機会が少ない、コントラバスの演奏体験機会を作り、大きな弦楽器に興味を示した子どもたちから、毎回、演奏の立候補の手がたくさん挙がります。休憩中には、ほとんどの子どもたちが楽器体験のために列を作ります。</p> <p>【8】共演する楽しさを実感してもらいます。楽器を使って全校で同じ曲を演奏する機会は少なく、さらに、ミュージシャンとのコラボレーションできる、貴重な機会となります。即興演奏の時は、テーマは演奏せずそれぞれの即興演奏を聴き、最後に再びテーマと一緒に演奏するという、ジャズの音楽の構成も学習します。 ワークショップではみんなで和やかに共演することを楽しみ、本公演ではプロの演奏に子どもたちが入っていくワクワク感を体験します。ワークショップでの練習をとおし、自分たちも本公演に参加する一員だということを自覚し、モチベーションを高めます。</p> <p>【9】即興演奏は、ジャズの大きな特徴であることを学習し、ミュージシャンの瞬発的な創造力に、刺激をうけます。</p> <p>【10】メロディーの即興だけでなく、自由にリズムも変えていく即興を体験します。 これは、同じ曲でも、リズムが変わるだけで、まったく印象の違う曲に変化する面白さを実感します。</p> <p>【11】リズムのコラボレーションは、音楽の楽しさを増し、最後のかけ声で、さらに気持ちも高揚していきます。 音楽の楽しみ方のひとつとして取り入れます。</p> <p>【12】Q&amp;Aは、ミュージシャンとのコミュニケーションの機会として取り入れます。</p> <p>【13】ワークショップを通じて、たくさんのリズムを体感したことで、曲に合わせて自然に、からだが動くようになります。それを、そのまま表現する楽しさを経験し、音楽を大好きになるきっかけを作ります。</p>	

# 出演者（メンバー表）



## 古野光昭(ウッドベース・バンドマスター) Mitsuaki Furuno

東京音楽大学卒業。NHK 交響楽団元首席・檜山薫氏に師事。

その後、渡辺貞夫グループ、今田勝トリオ、本多俊之グループ等でのレギュラー活動を経て、日本ジャズ界最強ユニット「フルノーツ」を結成。また、久石穰ワールドドリームオーケストラ(新日本フィル)のツアー、レコーディングにも参加した。現在は、秋吉敏子、日野皓正等、多くの演奏家とセッションを重ねる他、寺井尚子等と共に子供の情操教育にも力を注ぎ、「子供のためのジャズコンサート」のバンドマスターや、NPO 法人キッズファンの理事も務めている。ベースの巨匠とよばれる、日本を代表するベーシスト。



## 寺井尚子(ヴァイオリン) Naoko Terai

4歳よりヴァイオリンを始める。年1作のペースで発表しているアルバムは、いずれもジャズ・アルバムとして異例のセールスを記録。繊細な表現力と情熱的な演奏にますます磨きがかかる、世界を舞台に活躍するジャズ・ヴァイオリニストである。

「平成21年度文化庁芸術選奨文部科学大臣新人賞(大衆演芸部門)」南里文雄賞受賞(2008年)、ジャズディスク大賞(日本ジャズ賞)等受賞歴多数。また、8代目キャラクターとして「金鳥の渦巻」CMに出演。現在は、演奏曲が起用されている。BS-TBS「Cinemagic Café シネマジックカフェ」のパーソナリティ等、メディアへの出演も数多く、幅広い活動を展開している。



## 川嶋哲郎(サクソ&フルート) Tetsuro Kawashima

名実ともに日本ジャズ界でナンバーワンのテナー・サクソ奏者。

スイングジャーナル誌(現在廃刊)の読者人気投票では、毎年第一位を独占し続けた。

日野皓正、大西順子、日野元彦、綾戸智絵などの演奏家のグループを歴任し、現在も、フルノーツ、山下洋輔等と活動を続けている。2007年～2010年まで、JazzLife 誌にて、「わがままサクソ哲学」を連載、現在は「気ままにジャズエチュード」を連載中。洗足学園音楽大学講師。日本を代表するサクソ奏者であり、現在は、右にでるものはいない実力者と認知される。フルート演奏も得意としている。



## 菊池太光(ピアノ) Taiko Kikuchi

小学生の時からクラシックピアノを始め、高校時代に聴いたオスカーピーターソンのアルバムに影響され、ジャズピアニストを志す。多田誠司率いる「MOST」等を経て、現在は岡崎好朗カルテット、西川直人トリオ等のレギュラーと、自己のトリオで活躍中。若手のトップピアニストと高く評価され、ファンも多く、多方面から注目されている実力派ピアニスト。



## 小松伸之(ドラムス) Nobuyuki Komatsu

音楽家の家庭に育ち、大学時代にジャズに傾倒する。椎名豊(pf)、辛島文雄(pf)、山口真文(s)グループ活動等を歴任し、多岐にわたり活躍する。ジョン・ヘンドリックス、ジェームス・ムーディー、スライド・ハンプトン、ランディー・ブレッカーといったジャズジャイアントの面々とツアーを共にした経験も持つ。ミュージシャンの信頼の厚い音楽性の高いドラマーである。

にほん 日本ジャズ界を代表するミュージシャンが集まり、子どもたちのために最高の音楽を披露  
したいと立ち上がったドリウムチームです。全身震えるような感動をお届けします。

楽しくエキサイティングに!!



「子どものためのジャズコンサート」六本木ヒルズアリーナにて

### 知っていますか? ~10月1日は「国際音楽の日」です~

1977年にユネスコの要請で設立された国際音楽評議会、翌年の1978年から毎年10月1日を、世界の人々が音楽を通じてお互いに仲良くなり交流を深めていくために「国際音楽の日」とすることとしました。日本では、1994年から毎年10月1日を「国際音楽の日」と定めています。

れいわねんど  
令和3年度

ぶんかげいじゆつ  
文化芸術による子供育成総合事業

## 巡回公演事業「フルノーツ with 寺井尚子」

### ジャズ・クインテット

子どものためのジャズコンサート>



### 「文化芸術による子供育成総合事業 -巡回公演事業-」

我が国の一流の文化芸術団体が、小学校・中学校等において公演し、子供たちが優れた舞台芸術を鑑賞する機会を得ることにより、子供たちの発慧力やコミュニケーション能力の育成、将来の芸術家の育成や国民の芸術鑑賞能力の向上につなげることを目的としています。事前のワークショップでは、子供たちに実演指導又は鑑賞指導を行います。また、実演では、できるだけ子供たちにも参加してもらいます。



文部科学省

## プログラム



- 1 「A列車で行こう」 作曲: デューク・エリントン  
ジャズではよく演奏される曲(スタンダードナンバー)のひとつです。ニューヨークの地下鉄A列車を題材に作られました。
- 2 「モーニン」 作曲: ボディ・テイモنز  
ジャズでは、もともと特徴のあるブルーノート(クラシックにはない、ジャズ独特の音階)で表現されていて、コマージュにもよく使われる人気の高い曲です。

## 3 メンバーによる楽器の紹介～自己紹介も兼ねて

- 4 ジャズの種類について  
● テキサスランドジャズ 「聖者が町にやってくる」(アメリカ歌曲)  
● スウィングジャズ 「ジングジング」 作曲: ベニー・グッドマン  
● モダンジャズ 「ドナ・リー」 作曲: チャーリー・パーカー
- 5 「校歌」 ジャズアレンジして演奏します。

「Cジャムブルース」  
テーマが「ソ」と「ド」できていて、リズムも覚えやすい楽しい曲です。みんなで一緒に演奏しましょう。

「テキーラ」  
ボディーパーカッションを楽しみましょう。



- 6 共演しましょう!  
A 代表のみなさんとのコラボレーション  
B 「Cジャムブルース」 作曲: テューク・エリントン  
C 「テキーラ」 作曲: ダニエル・フロレンス  
D 「さくらさくら」
- 7 メドレー 皆さんのリクエスト曲を集めました。
- 8 「オルフェのサンバ」 作曲: ルイス・ボンファ  
映画「黒いオルフェ」でカーニバルのシーンのバックに流れていた曲です。リズムに合わせて、踊りましょう!
- 9 「スペイン」 作曲: チック・コリア  
アランフェス協奏曲「アダージョ」(クラシック)をイントロ(前奏)に用いて、チック・コリア(ジャズピアニスト)が、スペインのイメージでラテンのリズムを使って作った曲です。

(曲目は、都合により変更になる可能性があります) ※コロナウィルス感染予防のため、内容が変更されることもございます。

## ジャズの歴史

ジャズの起源は、1900年代で今から110年位前になります。ジャズはアメリカでヨーロッパの音楽とアフリカの音楽が出会い作られました。ジャズは、ニューオリンズという町を中心に発展していきました。ニューオリンズはアメリカの都市となる以前はフランス領、次いでスペインの都市だった歴史があります。ヨーロッパの音楽を基にアメリカの音楽が作られていき、賛美歌、民謡、黒人霊歌、ワークソング、ゴスペル、ブルース、ラグタイム等が混ざり合い、これにアフリカの太鼓のリズムが織り込まれ「ジャズ」と呼ばれるアメリカ音楽が生まれたのです。

## 出演者の紹介



ふるの みつあき  
**古野光昭**  
楽器: ウッドベース  
「ベースの巨匠」と呼ばれる日本を代表するベーシスト。NHK交響楽団元首席・増山薫氏に師事。その後、渡辺貞夫グループ、今田勝トリオ、本多峻之グループ等でのレギュラー活動を続け、日本ジャズ界最強ユニット「フルノーツ」を結成。また、古石嶺ワールドドリムオーケストラ(新日本フィル)のツアー、レコーディングにも参加した。現在は、歌手飯子、日野皓正等、多くの演奏家とセッションを重ねる他、寺井尚子等と共に子供の情操教育にも力を注ぎ、「子どものためのジャズコンサート」のバンドマスターや、NPO法人キッズファンの理事も務めている。



てらい なお  
**寺井尚子**  
楽器: ヴァイオリン  
世界を舞台に大活躍するジャズ・ヴァイオリニスト。4歳よりヴァイオリンを始める。クラシックだけでなくジャズに磨かれ、プロデビュー。「平成21年度芸術選奨文部科学大臣新人賞(大衆芸能部門)」、簡文雄賞(2008年)、ジャズディスク大賞(日本ジャズ賞)等受賞歴多数。また、8代目キャラクターとして「釜島の湯麩」CMに出演、現在は、演奏曲が起用されている。BS-TBS「Cinematic Cafe」出演、現在は、演奏曲が起用されている。BS-TBS「Cinematic Cafe」出演、現在は、演奏曲が起用されている。BS-TBS「Cinematic Cafe」出演、現在は、演奏曲が起用されている。

Photo by Masamitsu Tomita



かわら まさかず  
**川崎哲郎**  
楽器: テナー・サクソ、フルート  
テナーサクソでは、実力も人気も日本ジャズ界ナンバーワン。会社員として就職し、27歳でプロに転向。スウィングジャズ・フルート(現在福岡)の読者人気投票で毎年第一位を独白し続けた。また、2007年からJazzLife誌にてサクソ講座のコラムを連載中。筑正学園音楽大学講師。



きくち たかひさ  
**菊池太光 楽器: ピアノ**  
若手のトップピアニストとして小学生の時からクラシックピアノを始め、高校時代に聴いたオズカー・ピーターソンのアルバムに影響され、ジャズピアニストを志す。多田誠司率いる「MOST」等を結成、現在は多くのミュージシャンのレギュラーを兼任し、自身のトリオでも活躍中。若手実力派ピアニスト。



こしばの なおき  
**小松伸之 楽器: ドラムス**  
演奏家からの信頼が厚く、高い音楽性を持つドラマー。音楽家の家庭に育ち、大学時代にジャズに傾倒する。権名(pan)、草島文雄(pf)に傾倒する。権名(pan)、草島文雄(pf)に傾倒する。権名(pan)、草島文雄(pf)に傾倒する。

また、8代目キャラクターとして「釜島の湯麩」CMに出演、現在は、演奏曲が起用されている。BS-TBS「Cinematic Cafe」出演、現在は、演奏曲が起用されている。BS-TBS「Cinematic Cafe」出演、現在は、演奏曲が起用されている。

## ジャズの特徴

- **アドリブ (即興演奏)** ジャズの最大の特徴は、(ソロパートによる) アドリブ (即興演奏) です。アドリブ部はテーマ(基本のメロディー)にはさまれており、「テーマ・アドリブ・テーマ」という流れを基本とします。楽譜に縛られずに自由に自己表現していくアドリブの中でジャズは発展しました。
- **4ビート/アフタービート** ジャズは4ビートのもの(1小節に4分音符が4つ入る4拍子の曲)が多いです。4拍子の曲では、ヨーロッパの音楽も日本の音楽も「イチニサンシイ」のように奇数拍(1拍目と3拍目)にアクセントを置くのが基本です。これに対し、ジャズでは「イチニサンシイ」と偶数拍(2拍目と4拍目)にアクセントを置くのが基本です。これをアフタービートと言います。
- **ブルー・ノート** ジャズでよく使われるのは、ブルー・ノート・スケールといわれる音階です。ドから始まる長音階の場合、ド・レ・ミ・b・ファ・ソ・b・ラ・シ・b・ドのように、その第3音、第5音、第7音を半音下げた音を加えます。特に、b5の音をブルー・ノートと呼びます。
- **リズムセクション** ジャズのグループでは、ピアノ、ベース、ドラムスの全て又は一部が参加し、リズムセクションを担います。これはジャズから発展した音楽(ロックなど)にも共通している特徴でもあります。
- **どんな曲でもジャズになる** ジャズっぽく演奏すれば、どんな曲でもジャズ(っぼく)になります。ですから、ジャズの楽曲は多岐に渡ります。

【令和4年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－実施条件等確認書①】

ID	C30	分野	音楽	種目	オーケストラ等	ブロック	C	区分	A区分
公演団体名	フルノーツ with 寺井尚子 ジャズ・クインテット				制作団体名	イマジネーションプラス合同会社			

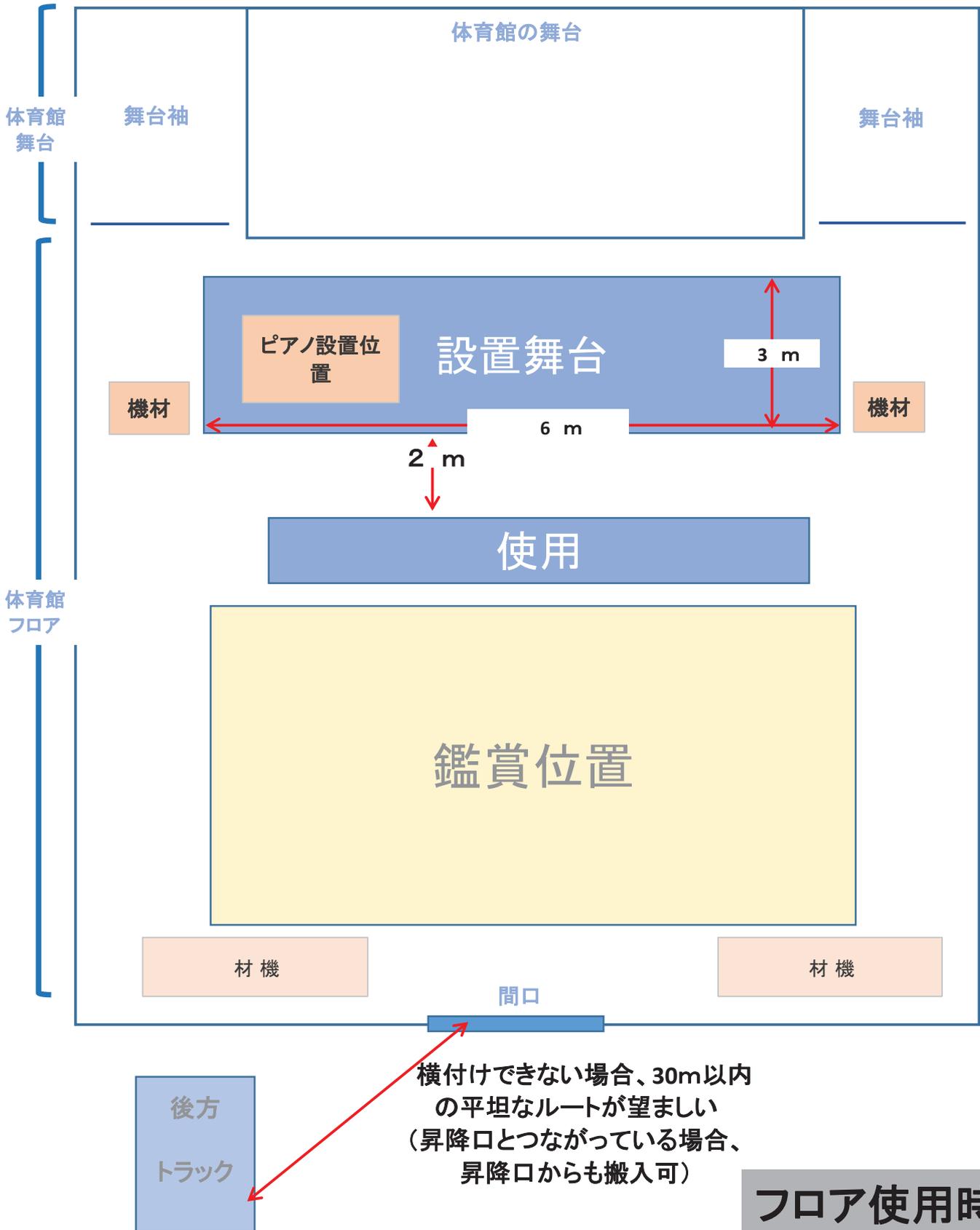
① 会場条件等についての確認

項目	必要条件等							応相談	
控室について	必要数*	2室	条件		できるだけ体育館に近い空き部屋を2室。本公演のみ必要。			可	
搬入について	来校する車両の大きさと台数*		3tトラック	1台	バン	1台		—	
	上記車両について「応相談可」の場合、内容詳細								
	来校する車両の内、横づけが必要な車両の大きさ		3tトラック（ワイド）					可	
	搬入車両の横づけの要否*		要					可	
	横づけができない場合の搬入可能距離*		30m以内					可	
	搬入経路の最低条件		階段がある経路は、避けたい。					可	
	理由		機材が重いので、準備に時間がかかるため						
	設置階の制限*		問わない					可	
	搬入間口について 単位:メートル		幅	1.5m	高さ	2.2m		可	
WSについて	参加可能人数	1～2000名						可	
	学年の指定の有無*	なし	指定学年*						
	所要時間の目安 単位:分	100分(休憩10分)						可	
本公演について	会場設営・本公演・メインプログラムの所要時間		※「出演希望調書」内「会場設営の所要時間(タイムスケジュール)」の目安を御参照ください。						
	鑑賞可能人数		1～2000名						
	舞台設置場所*		ステージ上への設置・フロアへの設置ともに対応可能					可	
	舞台設置に必要な広さ 単位:メートル		幅	6m	奥行	2.5m	高さ	3m	可
	体育館の舞台を使用する場合の条件	舞台袖スペースの確保*		要					可
		舞台袖スペースの条件*		出演者が待機できること(5名)					可
		緞帳*	不要		バトン*	不要			可
	遮光(暗幕等)の要否*		不要	理由	換気のため			不可	
	ピアノの調律・移動の要否 (調律費・移動費は経費対象外です)	指定位置へのピアノの移動*		要	※指定位置は会場設置図面にて御確認ください。			可	
		ピアノの事前調律*		要					可
	フロアを使用する場合の条件	バスケットゴールの設置状況*		格納されていれば可				可	
	公演に必要な電源容量		100A	※主幹電源の必要容量				可	
その他特記事項							応相談		

会場図面(表記単位:メートル)

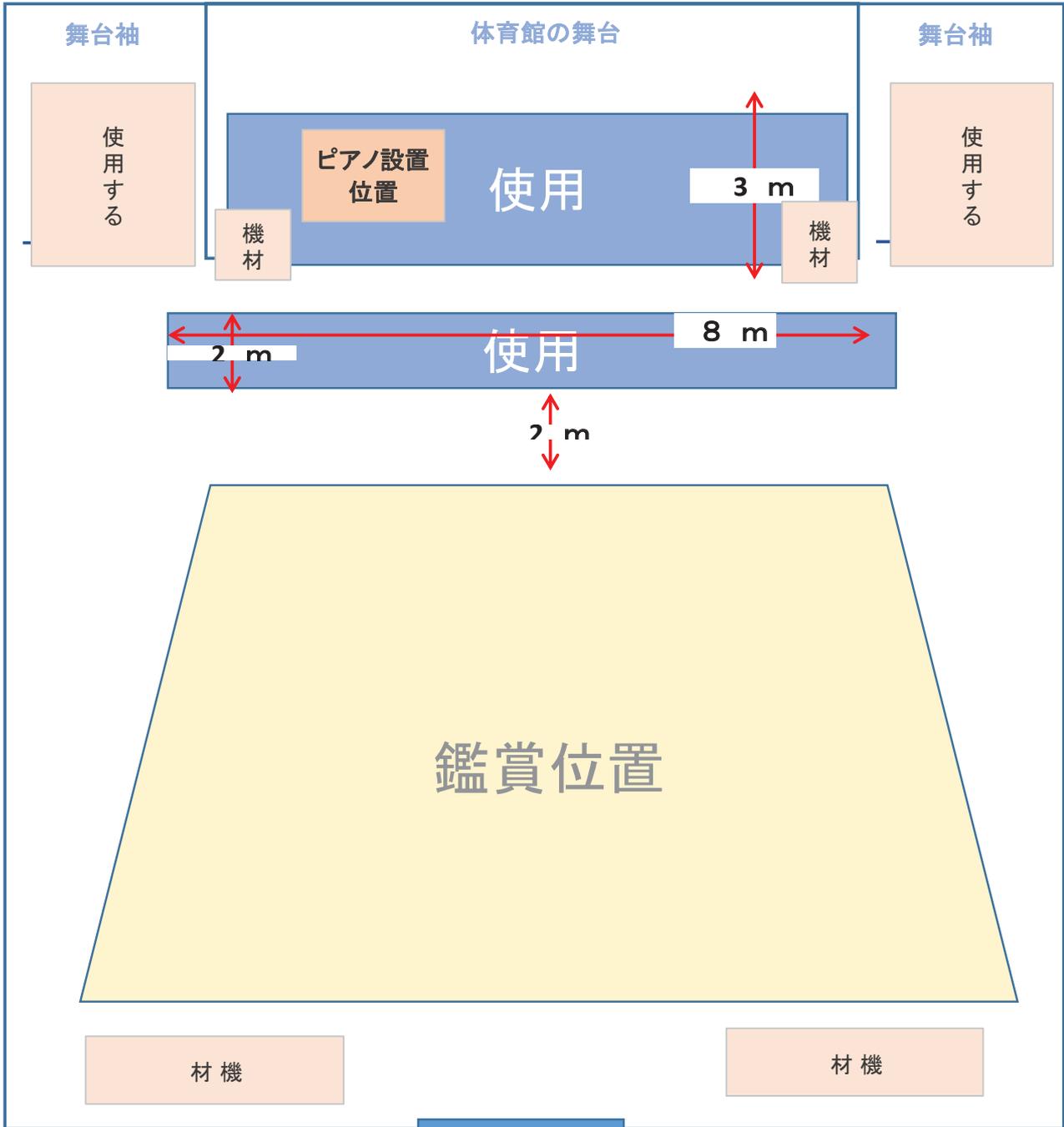
搬入間口について	幅	1.5m	高さ	2.2m
搬入車両の横づけの可否		要		
横づけができない場合の搬入可能距離		30m以内		

※搬入に関する条件の詳細については、図面上の表にて御確認ください。



搬入間口について	幅	1.5m	高さ	2.2m
搬入車両の横づけの要否		要		
横づけができない場合の搬入可能距離		30m		

※搬入に関する条件の詳細については、図面上の表にて御確認ください。



横付けできない場合、30m以内の平坦なルートが望ましい  
 (昇降口とつながっている場合、昇降口からも搬入可)

**舞台併用時**